

是彼會員

ヒトとネコとニワトリ が同化する島

中川啓造（会員）

「コケコッコー」、夜が明けやらぬうちからニワトリが鳴き出し、それと相前後してイスラム教のモスクからコーランの一節が大音響で鳴り響く。ネコはネコで、このところ盛りがついてい

るのか騒々しい声で日がな一日、オスがメスを追い掛け回す。

「善隣」2017年6月号に掲載された「途中下車の島を物語る」の舞台となったインドネシアのジャワ海に浮かぶカリムンジャワ島からの報告です。

前回から2年3か月振りの訪問で、『地球の歩き方』にもこの島が紹介され、観光客が目立つようになってきました。

そんな中で目に付くのは、オートバイがますます増え各家庭に2台はありそう。その影響でヒトが日中外を歩かなくなり、

バイクでの移動が多くなりました。そのため生活習慣病予備軍ともいえる肥満の方が目に付くようになり、外を歩くのは、島民とほぼ同数のネコとニワトリばかりです。この島では犬を見ることがなく、またヒトがネコにちょっかいを出さず、残飯を与えするためネコの天国です。以前訪れた瀬戸内海の青島と似た雰囲気があります。ニワトリは、イスラム圏内では豚肉を食べることが禁止されており、その代用の肉として外で放し飼いにされ、ハレの日には締めて食されております。

今回の訪問は特にこれはいう目的がなく、ただ島の生活の流れに身を任せてボーッと過ごしておりました。そんな中で特に気が付いたのは、熱帯地方は



日中暑く午後は昼寝を取らないと体力的にも厳しく、またそんなにあくせく働かなくてもゼイタクさえしなければ何とか食べていけることです。あと目に付くのは、子どもの数が多く、学校から帰ったら仲間と外で遊び回っていることです。僕は発展途上国に行く際にはペンシルバールンという風船は必ず持参し、合わせて当たりクジも持って行きます。子どもたちには初めてのモノなのか、興味津々な顔をして必ず集まってきて、行列ができるほどの大人気です（表4下写真）。どうも僕は子どもに好かれる要素があるようです。子どもは昼間外での遊びで体力を消耗するため夕食後ボタンキューの早寝です。

島での生活は、文明の最先端をゆくスマホも普及し始め、その他便利なモノが各家庭にも少しずつ入り込みかけています。それにもかかわらずこの島の共同社会は、イスラム教という宗教を核とした盤石な基盤を保っていると思われます。イスラム教の良いところは、持っている者が持たざる者に分け与えることです。見ていると、その施しがごく自然な形で行われているようです。上下の関係ではなく、ごく当たり前に水平な立場でやり気なくスーッと感じます。

以前、イスラムのお祭りの際、家人に気持ちとしてお布施を差し上げたら、それを見ていた隣近所の人が、我も我もと手を出されたのには閉口した思い出があります。

日本にも高度経済成長が始まる前には、このような濃厚な地域社会が存在したのではないかと考えられます。先進国から来た人間として感じたことは、「単純な生活ほどストレスが少ない」という結論です。

合掌